



2009～2010 年度 RI 会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ

NO.1069 / 2009.11.27

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka>

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ「四分一勝会長」

●本日の例会/2009 年 11 月 27 日 第 1093 回例会

卓話：「我が国周辺雑観」 ファースト株式会社 顧問
元陸上自衛官 太田 康和 氏

— ●前回報告/2009 年 11 月 20 日第 1092 回例会 —

卓話：「私の画商人生」

株式会社ヒロ画廊 代表取締役 藤井 公博 氏



卓話者紹介 庄司会員



卓話者 藤井公博氏

会長報告：

西澤幹事へロータリー財団からの「ベネファクター」の感謝状授与



東京麻布ロータリークラブ 辻穂高幹事

① 11 月 25 日（水）麻布 RC の卓話に前衆議院議員の佐藤ゆかりさんがお見えになりますので、ご興味のある方は是非お出で下さい。

② 12 月 16 日（水）は、貴乃花親方の卓話です。奥様の元アナウンサー景子さんとお出の予定ですので、こちらもよろしくお願い致します。



親睦活動委員会：橋本委員長

慶事のお祝いについて。従来のスタイルを来年 1 月から変える事といたしました。1 月からは、その月の末にお祝いの方々を祝うことにいたします。お祝いは花々しくお祝いする事を目的としまして、花を贈呈することといたします。

1 月からは華々しくですので、ご期待を。尚、70 歳の古希と 80 歳の傘寿は従来通りといたします。



ロータリー財団委員会：鶴間委員長

今月はロータリー財団月間です。100 ドル寄付のお願いです。宜しくお願いします。

又、財団の国際親善奨学生募集を行います。詳細は、本日ボックスへお入れ致しました。ご応募下さいませ。



出席報告：（順不同・敬称略）

会員 48 名／出席 28 名・欠席 20 名（出席規定免除者 6 名）
ゲスト／藤井公博（卓話者）計 1 名

ビジター／相沢英之（東京 RC）、酒井重人（東京日本橋 RC）、
武井敏一（東京日本橋 RC）、稲葉雅之（伊東西 RC）、辻穂高（東京麻布 RC）計 5 名



『友』インターネット速報

オーストラリアのクラブがラジオでロータリーを紹介

オーストラリア・ビクトリア州のカンタベリーロータリークラブ(RC)では、2006年からラジオ番組「Rotary and Community Service (ロータリーと社会奉仕)」を始めました。音楽を交えた2時間にわたるトークショーで、毎週、奉仕プロジェクトの紹介やどのように人々の生活を改善しているか、また一般の人々がどうやって活動に参加できるかを話題にロータリアンにインタビューを行っています。今年度カンタベリーRCの会長に就任するまで、ブルーマーさんは1人でインタビュアー役をこなしていました。現在は同じクラブの会員、ローターアクターも加わり、交替で月に1回ずつ番組を担当しています。

熱心に奉仕に打ち込むロータリアンやロータリー家族の人々と話ができるのが醍醐味、とブルーマーさんは話します。8月には日本からの国際親善奨学生も出演したとのこと。ゲストに余裕をもって準備してもらい、よいインタビューができるよう、各放送には十分前もって準備をして原稿を作り、トピックの予定も早くから組んでおきます。おもしろい番組を作る秘訣は、ゲストにオープンエンドの質問をすること、そして聞き手にとって魅力的な選曲をすることだそうです。(2009年10月27日 NO.403)

ユーモアあふれる募金活動

ノルウェー人は物語、特にコメディが好きです。笑い話やジョークを集めた本を作って、ロータリーの2億ドルのチャレンジの募金を集めよう、というガムレビエン・フレドリクスタロータリークラブのアイデアは、たちまち現実のものとなりました。『Humorleksikonet Skrattekammeret (笑いの部屋)』と題したこの本には、ノルウェーの330クラブから集められた1,201話が収められ、発行から数週間で1,500部を売り上げました。定価50ドルのうち12ドルがチャレンジに寄付されます。

プロジェクトは約1年かかり、出版には他クラブの会員が力を貸しました。クラブの元会長でプロジェクトを監督したヤン A. バトンさんによると、最初の目標はノルウェーの全会員に本を買ってもらい、7万2,000ドルを集めることでしたが、反応は期待以上。複数冊買ってくれる人が多く、今はノルウェーの全クラブで10万ドルの寄付を目標にしています。本を翻訳する計画は今のところありませんが、バトンさんは、他国のロータリアンもその国の言語で笑い話を集めた本を作ってほしいと考えています。「このアイデアについて商標は取っていませんから」と。

(2009年11月10日 NO.404)

●次回予告/2009年12月4日(金)第1094回例会

卓話予定 : 「私の研究、情報工学技術を用いた

古代木簡解読の支援システム」

米山奨学生 シェリニ ソマイエ 氏

ロータリー財団への寄付がもたらした

恩恵をニュースレターで紹介

(国際ロータリー・ニュース: 2009年11月4日)

「毎年あなたも100ドルを」(EREY)推進活動を通じて寄せられた年次プログラム基金への寄付は、奨学金や補助金などの財団プログラムの重要な財源となっています。

年次プログラム基金への寄付は、恵まれない人々をより良い生活へと導く懸け橋です。エルサルバドルでは、17,600米ドルのマッチング・グラント・プロジェクトにより3つの橋が建設されたおかげで、およそ2,500人の生活が改善されました。エルサルバドルのサン・サルバドル・クスカトラン・ロータリー・クラブと米国バージニア州、ウォウィック・クラブが協力して建てたこれらの橋を通じて、農作物の売買が盛んになり、経済は発展し、医療や教育の機会が増えました。それだけでなく、橋の建設中に良質の地下水が見つかるという思いがけない恵みももたらされました。今では、住民たちは橋を渡り、この水源を利用しています。

「毎年あなたも100ドルを」を通じて寄せられた皆さまからのご寄付は、世界中の人々の生活に変化をもたらしています。その例として、100米ドルの寄付でタンザニアの子供たちに蚊帳50枚を、1,000ドルでフィリピンの女性23人に少額ローンを、10,000ドルでハイチの村人に井戸2基を、100,000ドルでルーマニアの農業経営者が孤児院用に牛乳と食糧を生産するための乳牛100頭と鶏50羽を贈ることができます。

11月20日 / 7件 14,000円

本年度累計 511,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/ベネファクターの感謝状ありがとうございました。飯島さん、ご苦勞様です。土屋東一/佐藤さん、本日の当番交代ありがとうございました。入沢頼二/飯島さん、先日はなかなか立派な朗読聞かせていただきました。「津軽じょんがら節」の津軽訛りがきいておりました。荒木昭文/飯島さん、ニコニコご苦勞様です。高須康有/尾上さん、受付当番替わっていただき、ありがとうございました。庄司泰典/藤井さん、本日の卓話を楽しみにしております。飯島規之/久しぶりのニコニコです。多くのニコニコありがとうございました。